

科目区分	専門基礎分野	授業科目	社会福祉
講師名	正長 清志	実務経験の有無	有
単位数(時間)	2 単位(30 時間)	開講年次	3 年次 1 学期
授業概要 * 講師からのメッセージ	社会福祉の概要を理解するとともに、保健・医療・福祉各分野の専門職とのコンサルテーションの重要性を学びましょう		
目的: 社会的な援護を要する人が自立した生活を送ることができるように支援する社会福祉について理解を深め、保健・医療・福祉の連携を意識しながら、看護職の立場から対象を支援する方法を学習する			
目標: 1.社会福祉の概念の変遷を理解する 2.医療・社会保障制度と福祉の関連について理解する 3.社会福祉における医療福祉の位置づけについて理解する 4.医療福祉の視点を理解し、医療・看護に活かすことができるようになる			
回	授 業 内 容		
I	社会福祉総論		
1	1. 社会福祉の歴史		
2	2. 社会保障制度と社会福祉の法制度および社会変化と社会保障・社会福祉の動向 現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向		
3	3. 医療保障その1 1) 医療保障制度の沿革、構造と体系 2)健康保険と国民健康保険		
4	4. 医療保障その2 1) 高齢者医療制度保険 2)診療のしくみ		
5	5. 介護保障		
6	6. 所得保障		
7	7. 公的扶助		
II	社会福祉各論		
8	1. 社会福祉の分野とサービスその1 高齢者福祉		
9	2. 社会福祉の分野とサービスその2 障害者福祉		
10	3. 社会福祉の分野とサービスその3 児童家庭福祉		
11 【グループワーク】	4. 社会福祉実践と医療・看護その1 1) 社会福祉援助とは 2)個別援助技術(ケースワーク)		
12 【グループワーク】	5. 社会福祉実践と医療・看護その2 1) 集団援助技術(グループワーク) 2)間接援助技術と関連援助技術		
13	6. 社会福祉実践と医療・看護その3 1)社会福祉の援助の検討課題		
14	7. 社会福祉実践と医療・看護その4 1) 連携の重要性 2)社会福祉実践と医療と看護との連携		
15	1 時間(45 分): 講義のまとめと終了試験対策		
16	1 時間(45 分): 終了試験		
講義方法	講義・GW(11, 12 は演習形式)		
評価方法	筆記試験(100%)		
テキスト	医学書院: 系統看護学講座 専門基礎分野 社会保障・社会福祉 健康支援と社会保障制度③		
備考	既習関連科目: 地域福祉、公衆衛生、地域と暮らし、地域で暮らす人々を支える仕組み、地域・在宅看護学概論、地域・在宅看護論実習 I		